

II 院内教育体制の整備・充実支援

II-7-2 准看護師スキルアップ研修

1. 目的：更なる知識・技術向上のための機会を活用し、准看護師として地域や利用者へ還元できる。
2. 対象：長崎県内 准看護師
3. 定員：30名
4. 受講料：無料
5. 会場：ながさき看護センター（諫早市）・看護キャリア支援センター（佐世保市）
6. 研修内容：14：00～16：30 赤字は中止 青字はオンライン

回	日程	会場	内容	参加	回	日程	会場	内容	参加
1	4月25日(土)	諫早	看護の動向 看護倫理		5	10月10日(土)	諫早	認知症看護	11名
2	5月30日(土)	諫早	医療安全とは KYT・転倒・転落予防演習		6	12月12日(土)	佐世保	急変時の対応	21名
3	2月13日(土)	佐世保	感染対策とは 標準予防策・手洗い演習	10名	7	1月16日(土)	佐世保	看護記録	13名
4	9月12日(土)	諫早	コミュニケーションスキル・交流会						

【今回の准看護師スキルアップ研修に関する意見、感想】

- ・今の状況では仕方のないことですが、今回の研修は演習があった方がより身に付くだろうと思った。
- ・今まで感染対策を意識せずにケアを行っていたので、これからは少しでも意識し感染対策に努める。
- ・个人防护の着脱方法について、改めて確認することが出来たので良かった。今後、正しい着脱ができるようにしたい。
- ・認知症の人への支援について、改めて理解できることが多くあった。
- ・認知症患者の気持ち、それによる行動を理解することができた。本日の受講で学んだことをしっかり活かし、患者の立場になり対応したいと感じた。関わり方を考えていこうと思った。患者さまの秘められた可能性を引き出せるような関わりをしていきたい。BPSDを理解したうえで看護を提供していきたい。
- ・患者さまとの関わりを考え直すことができた。こちらの思いばかり言わずに相手が何を感じているのか読み取ることが大事だと思った。
- ・記録の中で主観的記録ばかり書いていたように思う。そして、熱型と記録と重複した記録が目立つので、部署で統一した記録がきてほしいなと思った。
- ・自分の言葉使いをそのまま記録していたこともあり、講義を受けて気を付けないといけないと思った。（患者の反応などを“いまいち”など使っていた）
- ・自身の勤める老健では、記録の内容について検査や評価がないため、今回の研修を受けて再度自身の記録を見直し、他スタッフと話してみたいと思った。

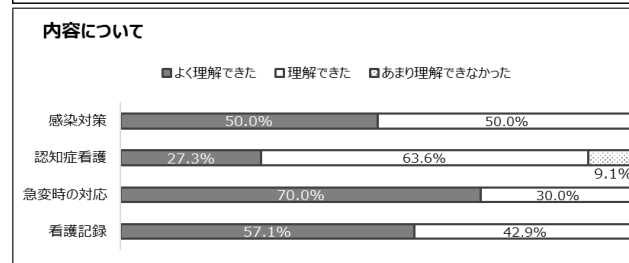
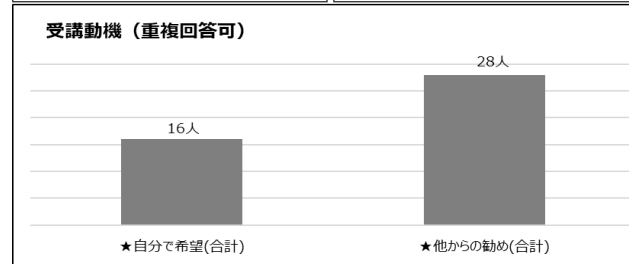
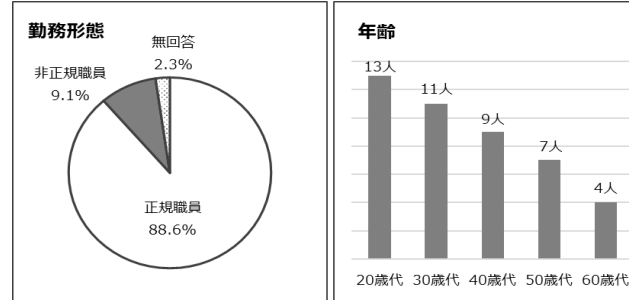
【今後の准看護師スキルアップ研修に関しての要望】

- ・現在、そしてこれからもコロナ渦は続くと思うのでオンライン（zoom）での講義は他者の事や感染に対することを考えずに、円滑に受講できた。今後ともオンラインの対応を行ってもらいたい。

准看護師スキルアップ研修

開催日 【第3回】2月13日オンライン【第5回】10月10日【第6回】12月12日【第7回】1月16日オンライン
※【第1回】【第2回】【第4回】中止

受講者数 55名



【まとめ】

本年度は新型コロナウイルスの関係で4月「看護の動向・看護倫理」、5月「医療安全」、9月「コミュニケーションスキル・交流会」が中止となった。7月「感染対策」は2月に延期しオンラインでの研修とした。しかし感染状況が比較的落ち着いたため、10月の「認知症看護」12月の「急変時の対応」は、感染対策をとりながら対面で実施することができた。1月の「看護記録」は13人、2月の「感染対策」は11名の参加者があり、感想として「オンラインでの講義は感染への不安がなく安心して受講できた」「オンライン研修では仕方ないけどだが演習があればもっと身に付いたかもしれない」などの意見もあった。